

2025年1月16日

一般社団法人 全日本ブラスシンフォニーコンクール事務局

## 本選大会におけるご報告とお詫び

先日行われた「第10回全日本ブラスシンフォニーコンクール本選大会」について、下記の事案が発生したことをご報告申し上げます。

1. 高等学校の部にご参加いただいた千葉県立国府台高等学校において、本来は最優秀準グランプリを獲得されていたところ、誤って最優秀賞を授与しておりました。こちらについて、事務局責任者の最終確認ミスが原因となっており、千葉県立国府台高等学校並びにご出場いただきました全学校には多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今後、十分な確認を行う体制を作り再発防止に努めていく所存でございます。

2. 演奏時間のタイムキーパーについて  
大会当日、全出場校の演奏が終了した後に、ご参加頂いた方よりタイムオーバーの可能性がある学校が存在するとご報告を受け、当日に撮影しておりましたビデオをその場で確認しましたところ、千葉県立幕張総合高等学校がタイムオーバーになっておりました。該当校の顧問様にもご確認いただき、大会概要に記載されている通り減点とさせていただきます。本来であれば皆様に共有すべき事項でございますがこちらの減点があったことを当日にアナウンス出来ておりませんでした。

さらに、舞台スタッフに確認をしたところ、この日はタイムキーパーをするスタッフが居なかったことが発覚しました。昨年までは舞台監督がストップウォッチで計測しておりましたが今回は計測はしておりませんでした。こちらについては、事前に事務局からタイムキーパーの徹底を舞台スタッフに指示するべきところ、確認を怠ったことが原因でございます。

順位を争う大会としてその根幹を揺るがす事態となり、参加者の皆様には深くお詫び申し上げます。

あらためて撮影しておりました演奏映像のチェックを実施いたしましたところ、他にタイムオーバーであった学校はございませんでした事をご報告させていただきます。

今後、事前確認を徹底するために全スタッフに共有を徹底するとともにチェックシートを見直し、同じミスが無いよう務めさせていただき、公平性を第一にしたコンクールを目指します。

当コンクールを楽しみにご参加頂いた皆様にはご心配をお掛けすることになり深くお詫び申し上げます。以後、運営を今一度見直し、安心してご参加いただける大会となるよう努力させていただきます。

全日本ブラスシンフォニーコンクール  
大会運営責任者 太田 実

